

地域のわ通信

Kanagawa-ku
Chiiki ryoku

神奈川区の庁舎内向けに、区内の地域情報や地域支援に関わる業務などを紹介します。

区政推進課 地域力推進担当 411-7026

第4期 神奈川区地域づくり大学校

第4講

ムリなく楽しく始める第一歩

地域づくり5つの手順



第4講では、受講生の卒業制作である「夢プラン」のはじめの一歩として、地域で実現させたい活動をプランシートに書き始めました。

プランの土台となるこれまでの学びを振り返り、新たな学びとして、高齢者を対象とした地域サロンの事例を羽沢地区自治連合会・岐部会長からお聞きしました。また、地域づくりを進める上で大事な5つの手順について、市民セクターよこはまの吉原事務局長から講義を受け、これからの「夢プラン」づくりのヒントとしました。

第4講概要

日時：12月9日（土）9:30～12:30
場所：神奈川区役所 5階大会議室
主催：神奈川区連合町内会自治会連絡協議会
認定NPO 法人市民セクターよこはま
神奈川区役所
協力：社会福祉法人横浜市神奈川区社会福祉協議会
受講者：19名（第4講参加は15名）
卒業生：1名

当日のプログラム

- 第1～3講の振り返り
- 活動報告「男性も大勢 さくらサロンの取組について」
岐部 文明 氏（羽沢地区自治連合会 会長）
- 講義「地域づくり5つのステップ&夢プランシートの作成について」
吉原 明香 氏（市民セクターよこはま 事務局長）
- ワーク：「夢プラン」はじめの一歩
- 支援制度に関する情報提供

■ 事例紹介 【男性も大勢 さくらサロンの取組について】

(羽沢地区自治連合会 岐部会長)



「肩を張りすぎず、いつでもやめられる気持ちで、活動を始めてみてください！」

活動のきっかけ 地域における話し合いの中で、隣近所が助け合える関係を作り、安心して暮らせる団地にしたいという思いから、地域サロンを思いつきました。

地域課題 宮向団地は65歳以上が全体の43%という高齢化率が高い団地です。引きこもりがちな高齢の男性が、外に出やすいきっかけが欲しいと思っていました。

さくらサロン 会場は団地の集会所を使い、茶菓を用意し、参加者が囲碁や将棋、健康マージャンなどを楽しみながら、大きな一つの部屋で交流ができるようにしています。地域の福祉施設を巻き込み、交流の延長線で健康チェックや介護の相談も気楽にできます。

活動のコツ 企画書にまとめると、書くことで何をしたいのかが見えてきます。子どもを巻き込むと、その父母や祖父母が地域の協力者になってくれます。



■ 講義 【地域づくりの5つのステップ&夢プランシートの作成について】

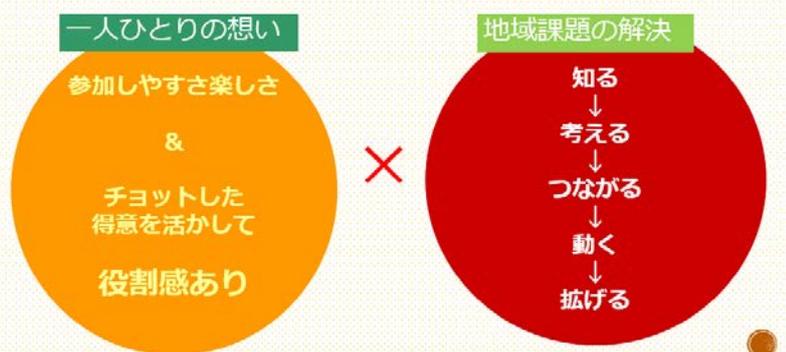
(市民セクターよこはま 吉原事務局長)

地域には魅力ある宝がたくさんあります。それらは欠点の裏返しだったりしますが、そこに深い魅力が隠れていることが多いです。活動をスタートする時は、地域を「知る」ことから始めてください。



欠点だったものが宝になった事例 「無用となったレコードを活用し、音楽喫茶を始めた地域があります。企画を実行するにあたり、地域に呼びかけたら、捨てるに捨てられなかったレコードが2000枚ほど集まり、ドイツ製のステレオまで寄贈され、今ではお茶を飲みながら昔のレコード鑑賞をする地域の憩いのカフェになっています。」

夢プランシート作成のポイント



夢プランは、「どこで、どんな方法で、誰と一緒に、なぜやりたいか、情報発信の方法、コスト」をイメージします。シートには一番書きたいところから書き始めると書きやすくなります。



「3人の仲間が集まれば活動は始められます。小さく始めて、動きながら改善していく気持ちでスタートしてください。」